「僕はもろ規定長くは関係しませんよ、彼等と来たら、題だ、例だと、第一、もともと議職長ひゃならですか」彼

京都大学新聞社 京都部 8111 学内 2441

コンパ

・合宿に

经外班

清 ご相談承ります

州 河原町今出川電停 「EL (231) 1750・8776

別() 「三島 由紀夫 V S・東大 全共 社 別() 「三島 由紀夫 V S・東大 全共 社 の | 日本の名書名 | 対 の | 日本の名書名 | 対 の | 日本の名書名 | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 の | 対 ナカニシヤ番店

警察の犯罪的、それを見すための 本 で掲以している記事が、とんなに つ 「金解老と属った五日側」と短し マ

人 たい、証据の確かなものだけでも たい 新があるぎだから、捜いして、私の様式でいる姿勢の問題に はして、私の様式でいる姿勢の問題に はに に対して、「あなたは検索官とし」 にはそういう私に対して、腕を組みへたい、証拠の施かなものだけでも、 調べて貰いたい」と、 は 良いから、調べて貰いたい」と、 は 良いから、調べて貰いたい」と、 岩成検察官 恥ずべきは誰なの

「金吋岩牛」と言わがれたとの当件の主任検察官である。当成が、そんなスサンなやり方で良かったかどうか……。

務

線などと一緒に指でた事と、それ を調べれば、出てくると源えたの を調べれば、出てくると源えたの を可れば、出てくると源えたの なイナマイトの事でも、起訴 状の中で、勝手に数をつくり、思 ったように、数を合せているので

金嬉老公判

護陳述がなされ、同陳述 本の法、敷判とは何か、0

同陳述要旨は次

の告

、宇田川直二の(稲川一) 一発発射させている時の そして、岩成三田検察官についてきた書配は、つねい、とっくりとついりとは眺り巻していて、それを、私や別祭官だちば、まるで、ツンガを見ている思いで、あとご、突ったものです。

次回から出廷拒否

回の冒頭除近郊表明 されたが、今後の証 されたが、今後の証 を削と会場を表世ー が護回側の対立なら 次回の公利のストが たたないまま午後四 時半すぎ間記した。 ったか、また ※別から開催く場間的なたと ※別から開催く場間的なたと レで、この選条を抽筒に訴える レを、このためす文 がにおいて「食をごりを続する ことを考えて」という一部をと こえ、その一部の不可性をつ ことを考えて」という、米 ののはわからない」という、米 ののはわからない」という、米

◆京都大学新聞縮刷版◆

しして実実に当を向けていない」事 を別に感じて貼ります。 を別に感じて貼ります。

ったと思います。

めんで歌わう学生のビヤホール

■ビールパーティなら 第一人様 300円より ■クラブ・サークル・会合の御申込みは TEL (221)3917

学生のビヤホール 名物 成吉思汗鍋



本 店・河原町四条 TEL (221) 3505 先斗町店・三条大橋下ル先斗町角 TEL (231) 1591



大阪府職員募集 (上級行政職)

○ 試験日 昭和44年7月13日(日) ○ 受験資格

○ 申込受付 昭和44年6月26日休から 昭和44年7月5日出まで 昭和18.4.2~昭和22.4.1に生れた者 ただし、来春大学卒業見込者は昭和23.4.1

○ 採用人員 約40名

○ 給 与 月額32,000円程度

問合せ先

大阪府人事委員会事務局総務課 TEL 06 941 0351 内線3552

00000000000000 ストックホルムに 着い たの は、五月十六日 から開かれる ・1人の書者が今年4月下旬、京都を発ってン 鉄道ではるばるスウェーデンに使いた。スウェ・ はブリー・セックスで看者だが、それたは別に なぼ」として、かつてイントレビッドの4人を で今もなお参えのペートナルを観光更をかかえ、 国だ、使一回難世伊上野君一京大文学程一があ 小中国太郎と『野忠中にし、あつい着好を検索 女史らの出席するパーティーに陥み、脱走米兵 生活を追いがたり進した。

かわらず突如不粋な化け万をす なった。 ないのでは、 ŀ

伊

、それは実情と証人によって、と言っても事実は縁 せま せん

また、私が一時はダイナマイト

という急変ぶりで、私は、追いつや次所検事その他が、転動になる

Pサラリーマン、学生、主婦、とい そして、それは、日本の知識人

場関係者を中心に甲崩発行なった 大田東京 では、こうした治理が、私達社として、民衆が運動に立ち上がる。 以前に、日本人三大からの手により、「本人三大からの手により、「本人三大からの手により、「本人三大からの手により、「本人三大からの手により、「本人」という。

日本人の及心とは、このような 事を許さない、良くても悪くても 真実を守る事だと思う私の考えや

 は、このような

と思う内に次の裁判前に、突然、

でしょうか。私は、日本人の名に た姿で、問題をごまかし処理する た姿で、問題をごまかし処理する なら、日本人を 心から 軽減 しま 日本の民衆は許すのだろうか

本 日本人の名において、日本人である以上 な を果たします。日本人である以上 な と果たします。日本人である以上

| C. CLEE, "Richard, 15782 C. 開連りの影響や それでも w 20 247、人に"HSAN-RD-等命 即義氏の最いを持ちるを持 近 25 247、人に"HSAN-RD-等命 即義氏の最いを持ちるを持 近 25 247、人に"HSAN-RD-等命 即義氏の最いな、 12 247の表示で、 1 ራ もちつん民に幻想を持つてら 0) 应

の為の室なのであるが、

、ペース――。はしまさでおな、 家リプの店舗、そのく者いよな 家リプの店舗、そのく者いよな 家リプの店舗、そのく者いよな のランプがばんやりと灯の絵を のランプがばんやりと灯の絵を かきてきるものだ。 MGDフサ と一人がギターを爪ひく、 と一人がギターを爪ひく、

んなことがあるですか」といった。
で、びっくりした顔をしていまし
さた。

しかし、そのことは、数判の事 を確かの手によって、広く知ら されると思いますので、今はひか えてお答訳す。 その他にも、当任検察官に対し

なわれ、供述調音は巡に取らせま 官による、金嶋必事件の取調は行 官による、金嶋必事件の取調は行

そして、私が日本の経際とは一 類に対してさえ何んの反論反ばく

、 る著祭や 検察官の との よう

にかり方で、私の知る限りをにかずャングの貿我たちの、

の行為の関連っていた点は、 を割からその責任はとります。 を利は当然と思っております。 それによる責任の追求は拒否がし、事実を隠した姿で数な

受け止めるべきでしょうか。 取じなくてはならないのは、果 たして朝鮮人の金層名でしょうか。 日本の皆さんノとの事実を事実

目をじっとつぶり、爪

※と権力を欲しいままにしたしたか、どのようなことで金

すし、その大橋巡査天婦が回会に 情と収等もとまかに話してありま 情と収等もとまかに話してありま に (風本教文社)の山本義隆著 類性の兼乱」(神無書所)の上 類性の兼乱」(神無書所)の上 が口がの生涯」(日本に領許文 が口がの生涯」(日本部録社) が日がの生涯」(日本部録社) たことも岩成主任検察官 まい 季節の郷土料理を

とりそろえました 和点れすとらん

メニュー (一列)

三平 定食(比海波) 全500

東海羅定食(取 変) 全500

東海羅定食(取 変) 全500

加 寿 司 (出版数) 全580
かに 寿 司 (出版数) 全350
かに 寿 司 (出版数) 全350 クラス・サークルの

集会に御利用下さい 京大農学部長 左・北白川間ノロバス停前 もしもし (781) 0818 闘午前11時~深夜2時まで営業

フレッシュな若人に ふさわしい フレッシュな経営です

あすをひらく住友電丁

住友電工は安定した会社です。70年の 伝統が 答いた前みです。

住友電工はたえまなく発展します。 足跡は、 そのままわが国の工業発達史です。 住友電工は明日のためにさらに前進します。

資本金=180億円 年間売上高=1,300億円 従業員=約10,000名

たたかっているのである。こ 作製された宣教文書である。

にものかをという思想とし 約聖書のレベル」からいってもイとへの抗議が、パンを超 によって虐殺された。だから「新

示唆的な気がします。そしてため

そこには明らかに、何らかの

「ねじ式」以前 だとするなら、このつけのみた

メクラゲに左腕を嘲まれてしま

とないなかしかる主

もAであるととの二つの矛盾

るかぎり当然であろう。 すくなく

きであろう。というのは、今日

の問題であり、人間の実存より

人間の問題を考え、実存を

ト教的な学生叛乱 ス

この思想をもっとも今日的な討

いない。そのなかで山本氏の手紙両者は肝心のととろで嘲み合って 実につき動かされてい ったという正統主義の立場におい 復書組は辿っている。そして確認 している。両者に共感と

続くべき、「懼るべきものを汝ら 「東大全共闘が出したあるピラ

の「マタイによる福音書」四章問 ある。 そしてこれくらい今日の

住の生活に自二端足して、坎尻に 止海したのがイエスの立場である自己が出してい、すなわち衣食 ようとする思想を見服 あるいは言葉は他にあるをい。労働者诱姦 約型書の伊汝王隣や神を答覧化し の一節につぎのような部分があ

のであり、あるいはキリスト教の位米のキリスト教に向けられたも 書の言葉がある。 これは新約型素 力であるが、のちにのべるように そのキリスト教批判はあくまでも 配体制のイデオロギーであり、こ どう、そのような思考はむしる たとえば「人はパンだけで生き ト教的であり、それゆえにその ルであったからである。 しかし こいるのは、人間論的発想で かたである。キリスト教が

神への留保

滝沢克己氏の往復書側が掲載され 日ジャーナル」の一九六九年六月て、さらに追求してみたい。『朝 論の一過程を分析することによっ 共闘 代表 山本義隆氏と 九大教授 副理を超えた人間における普遍的 氏氏の哲字、神学に関する著書を た、九大闘争においてラディカル

いしとは、第二回においてみた としろで、つけ自身もどこか

その内実においてキュ

の作品世界の構造からの能 二つの作品が、それまでのつげ をして「つけ作品の中で最も恐

んさん。までの作品の世界は、 もつ作品の図事体験の世界が、 一部」以後「ほんやら洞のべ、を一読してこの不思議な魅惑を るべき作品」と評さしめたこの一今までみてきたように、 も同様なわけだが、金井美恵子 といった解析法の有効性も考え 「ゲンセンカン主人」について、意味の裏打ちを読み込んでゆく らないとどろをもち、それは た日本の昭和史の政治状況的な わたし途の棲んでいる世界と地 変質を遂げて座み出されている られてくるのだが、ここでは、 品のもつ時間構造に関する論究

ン主人」の世界の構造は、わた る。フロイドをひきあいに出するが、『ねじ式』『ゲシャンカ においは、死者のに おいであるが、『ねじ式』『ゲシャンカ においは、死者のに おいであれるの場別にあったと考えられ 気付く、『ねじ 式』の世界の 気付く、「ねじ式」の世 きて、むた」達は「もころ」

な欲望実現の場であり、無意識 されているのだが、もしそそろ

すが、 ンの老いた女中とが交わす会話とれば旅人(B)とゲンセンカ

(文学部四回生)

編集--共和国・発行-

=|合同出版全国書店・生

ーナル」6・29号

たけれど、この言葉は旧約聖書の のる。この「パンだけで生きるものなななく問題であり、課題であり、探題であり、課題であり、探 ではない」と「神の言葉によって であり、はじめにあげた既成ギリ 生きる」とを切断する思想とそ、

よって、本米のキリスト教、スト教を徹底的に批判すると **シト枚の返埋を鮮明にす** 生けるわれわれを見る側にいいは、いわば、内部の災災・内的 埋葬の泥の墨の下でなく ているようるなら、『ねじ式』 死者は棺の後の中でなく の作品が、外部の災災と対応し

死者の方法世界=

は一体どろいうことを一味して 凶影が、〈異界〉に似ていると いるのであろうか。

3

雨

宫

邦

てつげ作品に登場してきた「ぼ

世) 気持になるでしょう。 ってあさやかな転生を示してい りぬけてゆく遺様において遂行に向っているような、所宮 との出会いを逃還することによ、奪の力法世界=〈契邦〉を〈〉に向っているような、所宮 との出会いを連想することによ、奪の力法世界=〈契邦〉を〈〉と、

「少年」はこの内的な旅行の果

画>粒は意識的にとりのぞかれ

族人-前世?前世ってなんの女中-前世の囚縁でしょうね

えられねばならないのである。 瞬――特権的時間性としてとら

だそうとして確かに実在する

一鍵です

おばさんはそう信じて

〈意識の時間〉軸の全開状態と である。

来の意味に対ける人生従りとし、後人走っているやらな(無村)てに、母に社会い、産剤人科皮 患者)としてはなり、物が本 『夏鶴とせい、そうずれば 「かず!! はんのけんながの果 とうとによってはいめて、歳 る。

「ねじ式」

以

後

一たって前世がなかった

体〉の主張をあらわしている、

そういう有限雑誌のひとつである。

『週刊アンポ』 にとっての 七〇年秋 にくらべ

【共和国】の七一年はじめ、季刊で八号、ほ

なぜ生きていけないの ませんがな

子供の弧のお町、「ゲン ン主人」に描かれた天狗の可 なければならない。それは仮面

化させようとする雑誌づくりだと、いつまでに、

とこまで変化させうるかという展望が不可欠にな もつくれる。しかし、状況に働きかけて状況を変

この五月に創刊された季刊雑誌『共和国』も、

るなら、状況が変化しつづけるかぎり無限に雑誌 という、これまでのジャーナリズムの常道からす

状況の変化を反映しながら雑誌づくりをしよう

朝日ジャーナル評

「ねら式」の中の

・まるで…まるで何だと

できることをおしえられた「少」しい間の出来事としてしか開花。 品は、老人しかいないようなひ然の時間〉を一時退けることが、の死者の世界=〈冥界〉の輝だ、ットによる導入部をもつこの作

しえないのである。つまりつげ なびた温泉町にふらりと主人公しい脳の出来事としてしか開花 品は、老人しかいないようなひ

この「前世とは親である」或 において慈妄された水 (液体) と家人(日)実 のモチーフは、この二つの作品 いは家人(日)と家人(日)実 のモチーフは、この二つの作品 といっ作中のことは、「ウチ権である」 或 において慈妄された水 (液体)

かが

-ゆ…幽靄ではありませ いつのです

と考えられるのである。 変身のひとつの例であり、

次に、「私し式」以前

通道することによってのみ到達(だが、それらはすべて自然の目が「ねじ式」の〈祭界〉世界を一描かれていないわけではないの

死の問題は、空間性をいちおう

然の時間〉との乖難にはじまる の作品を、ひとことでいってしたし達のもっているもうな まうなら、それは 人意識の時 の玩笑・夢の世界は、丁度外部 「ねじ式」以前のつけ義者 いるといえるわけだが、このわ 古岡実「死見」より 覚化として、ひとつの凶夢体験 な不安あるいは被望の全的な視は、いわば、内部の災災・内的 そのものを定着させよ

不安と不幸、およびその回復選 作品の並々ならないリテリティ不安と不幸、およびその回復選 作品の並々ならないリテリティが、しかもそれは人意識の時間 る。 た緊張感を持っており、

円流の膨脹・拡大として試みら かれたいくつかのカット・ せてゆくといった意識の時間のるかたちで、との作品の中に指 > を 〈自然の時間〉 へと同化さ 従って、 ととから 逆照射され へ 理髪店のトレ 先のカットに隠された旗。 なねじり蛤模様の看板のある店 日の丸の旗、あるいは

〈意識の時間〉 軸の全開

ねじ式の世界

〈意識〉〈肉体〉を主張する〝仮面〟

時間を気化せる、風、

つげ作うにおもわれる。つまり並のいっては、・排除したかたちでも成立するよ

は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 というのもの を でいる。 でいました。 でいる。 でいました。 でいる。 でいました。 でいる。 でいました。 でいる。 でいました。 でいる。 でいました。 でいま

「マンガでしか解決できない間は 備中だということである。この 余りの北黙の意味は測られると、彼は新しい大作を率 しつづけてきた、わたし達のも 題のマンガによる解決」を試行 用からの回復として、彼の一年

こういう雑誌づくりの力量を備えてきたというこ

キリスト者、とりわけ日本基督教団に代表されるプロテスタ、とりわけ日本基督教団に代表されるプロテスタントは、「新国神社法」と「万国博士リスト教館問恵」をめてって、その代に「魅う干リスト者」の歴史を見た。 スト省は、自らの変革を治難にみちた現実の中にえらびとる などでは、チャベルの可鎖が提出され、全共闘運動の理念を 全国学園闘争の徴発の中で、明治学院大、関学、同志社大 キリスト教はそのラディカルな思想において、断じて体制

「闘うキリスト省」の論理を追求

らイエスがでてきたという考えか

「炎存よりも本質が

およそがますあって、そこか

キ

ij

ス

トとイ

く、聖書を手がかりにして理解さ、を求めて孤立を恐れず」とはい、はその定言と行動に極寒された。なわち重書から直接的にではな、帯でしかないと思います。「連帯、由な人職として出現した時、人々 化してはならないものである。す 的有効性が交わる点での窓棒と垂 イエスが兵衆のなかに自立した自インならいうなら、それは姿体 る基線は、「無償の自己」と連続 転回しているかがりかるだうう。は誇らず、もっぱら入粛を注意た て 人台返的自己 とく 決定 てきん そのよう 五選考がいかに 能しば、 みじくも言ったものです」 帯でしかないと思います。 思います。やはり、私たちにとっ もやはり回じてとであったろうと 実際こわいものなしが苦いて な

文配的である。しかし現実を

し得ぬ者どもを懼れるな」と「懼 エスの実存とそれに無発された民 実体性を獲得したのである。それ。この「身を収して後に何をもな 人間になっていった。そこにはイ えて、それぞれの支援が宗教的な といった一選の呼び名がイエスに

「イエス」のなかでつぎのように

その著

マは重要するで、それは傾向に、 して使むただが、今のは重要を開いなわばならぬ。イエスを下り入いているとしてなるを、 かにより入れませる。 それは傾向に して使むただかった。 そのは異なる。 ないとない できる はんしょう できまが はい しんしょう できまい かいまし しょう できまが はい しんしょう できまが はい しんしょう できまが はい しんしょう できまが しょう いんしょう しょう いんしょう しょう いんしょう いんしょく いんしょ のである。福沢氏はこの問題提起

を告白し、井証していくというこ て理解して、いわゆる「復活」と

である。

で通ば多くまでも「神を流れ上」して支援した。そのピイエスだ古、して「山生北が「人間を終わる「司の実存の提案的指導の中での人 精が終われ間単位などを構えれてに提載、言だしていないが、他の、で理解して、いわゆる「程度」と そのような音がを考えるから、「ほうくこさなり

神性として容観的に観察されるこ
て現実の状況や人間の問題に真剣

エス自体との峻別

自己自身と全体的人間の発見を

大学といって、創立の精神はたし 護持してきたキリスト教が攻撃の 「偶然か」 学も少なくない。キリスト教主義 かでキリスト教主義大学がとくに たという。

「偶然から私たちはこの集会の それは宗教改革におけるマルチ

主義大学、いなキリスト教そのも する時代ではないか。それがキリスト教を見られていないか。それがキリスト教を見られていないか。 いた生命を発掘し、人類の真理と リスト教が辿しもって

らのキリスト数主義採케の傾命は、大学に呼ばれるとしたでの場合は 大学によいていました。 大学によいては特別の傾向は、大学に呼ばれるとしたでの場合は ない、しかしな好ら逆に批判するで、しか、その個等がかかに で、よいつうちゃの批判の不倫底 蒸売しまっての キャナナから成 があっての キャナナからの 者の学生ばかりではない。むしろの胸に、この瞬間ほどパン 聖書明読の役一同の讃美歌の歌わ ス・ミュンツアーの展界にとどまようなものは何一つなかったが、 かった存在とはまっ、なおトーマ された。おそらく私たち一人一人が教会の伝承を将軍してきたのに れる中を、パンとぶどう語がまわるものである。およそカト

を検別することによって、自己自 キリスト教のラディカリズムと 止揚し、無化することによっキリスト教を根底から問い直

ようなものは何一つなかったが、 かった存在とはあえ、なおトーマた。そこには宗教的逃ゥ品と呼ぶ ても、それが農民に加担してたたた。そこには宗教的逃ゥ品と呼ぶ ても、それが農民に加担しているとし結びに 収養を 受けることに なっ ン・ルターの域は脱しているとし

陸に海に空に 世界中で愛用されている スパーク・プラグ

然的に曲げられた、プラスの曲 周〉までもが気化された

で吹きすさぶ風の中に、

欲望の重力場の存在によって必

論に比喩を かりて いうなら、 る。そして 〈自然の時間〉 はも ニタインの説いた一般相対性理 が作品世界全体に吹き売れてい

『ねじ式』の世界=不安或いは ちろんのこと、人意識の というのもそれは、アインシーされてしまったかのような暴風

も、そして恐らくは人肉体の問

うである。 を、閉じられた時間としてとら

は、あたかも時間はすべて気化 『ゲンセンカン主人』において窓からみえる 風鈴)、 さらに

とにはじめて成功したよ

としてあった〈自然の時間〉軸 って、それまでは開かれたもの

している。つげはこの質品によ 的な風の揺写は『ねじ式』の中 しえたはずの時間論軌跡の現在 然な指写としての意味しかもち

ンピオン 8-Q UN-5 が最適。自動車部品店ま

一年間は、

六〇年安保のなかで自己形成の道を踏

権力側の時期設定を基本にしているのに対し、 〇年秋が六〇年六月プラス条約期限一〇年という かに臨時号一~二冊)はもっと主体的である。七

『共和国』編集部が設定した六〇年五月からの一

姿勢を確保するためのラジカルな模索の日々であ

ある、という編集者の状況変革の意志に支えられ た冒険である。 けを期得する。雑誌づくりがじつは読者づくりで 【共和国】も原稿料はタダである。ただし筆者 その思想の全面的展開だ

代が、思想的営為としても経済的営為としても、 り二○歳代後半である。アンポ派と呼べるこの世 人。編集部として名をつらねている三人も、やは 以あたりを除くと、ほとんどが二〇歳代の後半の 『共和国』創刊号は、なかなか力作ぞろいであ 執筆者は、菅原克己、 石田郁夫、徳留徳の三

の、書くととによって必然的に てはならないものをみてしまっく実界〉と〈幽界〉といろ見

CHAMPION

六〇年代の科学運動史(1)……

・京大反大学・他

日大フリーダムユニオン・青山デザインスクール

沖縄闘争の運動と思想…

:石田郁夫

|状況を切開く雑誌 | ―

キューバ革命史研究序説(1)………山崎カヲル 台法と非合法の弁証法・初期ルカーチの革命論…

(1) 池田浩士

第一号 特集―「反大学」の実践

CHAMPION SPARK PLUG COMPANY 共和国-

エラブの一断面・方言での詩と会話 喜

雅之

東大闘争・砂川闘争未発表写真集… 八月中旬刊

ルカーチ・戦術と倫理…池田浩士訳

砂川からのレポート・自衛する農民 現代革命とサンジカリズム… 特集=「反大学」は構築の論理か… 流村 隆

新いせんの思想形成りための総合記

創刊号

六五〇円・残部僅少